



機関工学類型3年生 造船見学！

5月24日（金）機関工学類型3年生が、船舶の建造や修繕作業を見学することにより、船舶就職及び造船業への関心を高め、就職活動の一助とすることを目的として、気仙沼市にある株式会社みらい造船を見学しました。みらい造船株式会社は、宮城県の実習船『宮城丸』を製造した会社です！見学した生徒が、様々な企業を知ることによって将来の進路選択の一助になることを願います。



機関工学類型



宮城県水産高等学校の機関工学類型は、船のエンジニアや港湾物流のプロを目指し、学習や実習を行っています。船のエンジンについての知識とエンジンを修理する技術、機械工作技術（自分で部品を作る）、操船（船の操縦）を中心に行います。さらに、工業高校の機械科で学ぶ内容も本校では行っています。海上でエンジンをはじめとする各種機械が故障すると、他の場所からエンジニアを呼ぶことはできませんので、自分たちで修理しなければなりませんし、ネジなどの機械部品が不足したとき船内の工作機械を使って部品を作る技術や鉄と鉄をくっつける溶接技術などもなくてはなりません。そのため、機械の勉強も行います。

また、クレーンやフォークリフトなどの荷役機械の運転・操作も学びます。港で活躍する荷さばきのプロにもなれるのです！ 幅広分野で活躍できる人材の育成を目指しています！